

市民活動団体の今を紹介する  
**クローズUP**

No.001



今回ご紹介するのは…

**刈谷地区心身  
障害児者を守る会**

昨年50周年を迎えた刈谷地区心身障害児者を守る会（以下守る会）の代表鈴木小枝さんに団体紹介をして頂きました。今は第2の重症心身障害者通所施設建設を目指して3,000万円を目標に募金活動をしています。



- 守る会の沿革
- 昭和37年11月 守る会の前身となる「二百円貯金」始まる
  - 昭和40年 9月 守る会設立総会
  - 昭和43年 1月 在宅障がい児のための「一日保育」を開始
  - 昭和48年 1月 原崎町に「ひかりの家」開所
  - 昭和58年 3月 小山町に「新ひかりの家」移転開所
  - 4月より統合保育開始
  - 平成14年 3月 社会福祉法人ひかりの家認可
  - 平成18年 4月 重症心身障害者施設通所施設「ひかりワークス風鈴」開所
  - 平成19年 8月 「ひかりかがやけ登山」開始
  - 平成22年 5月 守る会「緑綬褒章」受章
  - 平成27年 4月 守る会50周年

**活動内容**

- 「社会福祉法人ひかりの家」支援事業
1. ひかりの家バザー 年1回
  2. 一日保育（登山、陶芸体験、雪遊び、こま体験など）
  3. 福祉啓発事業（コンサート、講演会など）年1, 2回
  4. 健康料理勉強会 月1回
  5. 会報「AJUひかり」年4回発行



**お問い合わせ**

住所／刈谷市小山町5-1-3  
事務局／社会福祉法人ひかりの家 大南友幸  
TEL／0566-23-1051 FAX／0566-23-1580  
URL／<http://www.kariya-mamorukai.org/>



▲鈴木小枝さん（向かって左）

会の立上げのきっかけは、保健師伊藤寿美多さんと未熟児Y君との出会いからでした。Y君の母親の「この子はいらぬ」という悲しいつぶやきを聞いて、何とかしなければと動き始め、びわこ学園に入園できましたが、本当にこれでよかったのかと考えるようになりました。子どもにとって最も大切なのは、地域に根ざして暮らすこと、親と共に育ちあつていくことではないかという想いが湧き、会の立上げとなりました。

寿美多さんの存在が大きすぎて亡くなられてから、途方にくれているというのが本音ですが・・・「ありがとう」と言われる側から「ありがとう」と言う側になつてくれる会員さんがひとりでも増えてほしいと願っています。本当に多くの人たちの助けがあつて活動を続けています。障がいの有無に関係なく、皆同じ仲間として、お互いに感謝し合える団体でありたいと考えています。「ひかりかがやけ登山」の時、ボランティアさんが「参加させてくれてありがとう」と言つて、涙ぐんでいた姿が忘れられません。今後の想いとして寿美多さんの願いであった障がいの有無に関わらず、大人も子どもも誰もが自分らしく、生き生き暮らせる地域づくりを目指します。「望まぬ世の中になりますように・・・」



▲ひかりかがやけ登山の真っ最中

15年前から刈谷のボランティアの一大イベントである、ひかりの家のバザーに参加させてもらっていますが、いつもすごいと思います。それは、ひかりの家が、障がいを持つ子、そうでない子と共に就園でき、共に成長できる施設である事。これは公立の施設では難しいことです。そんな施設を支えているのが刈谷地区心身障害児者を守る会です。



す。バザーは大きな資金源ですが、町内会・子供会・婦人会・企業・各種団体の方々が物品の寄贈・調達・値付け・当日の販売などにボランティアで関わるイベントです。善意の集まり、まさにボランティアの祭典、会場では大勢のボランティアの方にお会いできるのも楽しみです。今年も成功することを祈っています。 牧野清光



**イベント告知**

今年のバザーの開催日は、  
8月27日(土) 9:00~11:30 13:00~14:00  
8月28日(日) 9:00~11:00  
です。ぜひ立ち寄り買い物をバザーへの協力をお願いします。